



# 太陽光×蓄電池Ⅱ 強くやさしい家づくり

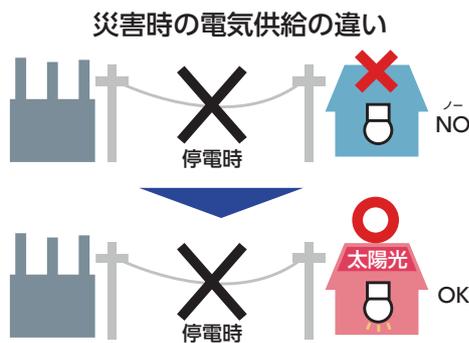
太陽光発電に蓄電池を上手に組み合わせ、環境にやさしく災害に強い、自立分散型エネルギー（※）の家づくりを目指しませんか。



## 宇都宮が普及を目指す自立分散型エネルギー

本市では、日照時間が長いという地域特性を生かし「太陽光発電」を軸とした、環境にやさしい再生可能エネルギーの利用拡大に合わせて、発電した電気を蓄える「蓄電池」の普及拡大に取り組んでいます。

これにより、エネルギーの地産地消を推進し、一般家庭の低炭素化を促進できるほか、東日本大震災で経験したような停電にも備えることができる「自立分散型エネルギー」の普及を目標としています。



指しています。自立分散型エネルギーで重要になるのが、電気を蓄える蓄電池です。蓄電池は、環境にやさしいことに加え、災害にも強いというメリット

トがあります（下の記事参照）。

## 電気自動車は「走る蓄電池」

その中でも近年注目されているのが、電気自動車を蓄電池として活用する方法です。

市販されている電気自動車の電力量は、10.5〜40キロワットアワーと、定置型蓄電池の電力量と比べても引けをとりません。

また、定置型の蓄電池とは違い、もちろん、普段は自動車として使用できるメリットもあります。

自立分散型エネルギーの  
ココがすごい

ポイント①  
環境にやさしい

自立分散型エネルギーは、電力を必要とする場所で発電します。発電所から電気を供給する際は、送電する際にロスが生じていますが、自立分散型エネルギーは地産地消できるため、送電する際のロスが生じず、発電した電力を効率良く活用できます。

また再生可能エネルギーは発電時に温室効果ガス（CO<sub>2</sub>）を発生しないため、環境にやさしいエネルギーです。

ポイント②  
災害時にも強い

発電所からの電気供給が途絶えても、家庭に備えた太陽光発電などの発電設備から電気を供給できるため、災害時でも家庭で電気を使用することができます。

※本市の地域特性である日照時間の長さを生かしながら、身近なところで作った電気を貯めてエネルギー事情の影響に左右されずに、いつでも安定的に使用できる状態のこと。



ご利用ください

ページ番号  
1005418

## 家庭向け低炭素化普及促進補助金

▽受付開始日 5月15日(火)。

▽補助対象機器、補助金額、補助件数 下の表の通り。

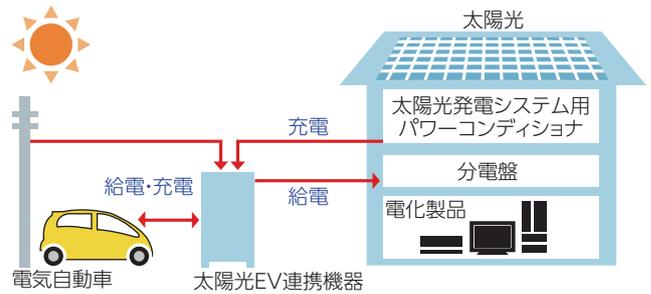
▽主な申請資格 自ら居住する住宅に機器を設置すること、かつ市内に住民登録があり市税を滞納していないことなど。

▽その他 詳しくは、市ホームページをご覧ください。環境政策課(市役所12階) ☎(632)2408へ。

補助対象機器		補助額	補助件数(予定)
①太陽光発電システム		1キロワットあたり 1万円 (上限8万円)	700件
②太陽光発電と連携した蓄電池	定置型蓄電池	自己負担額の 10パーセント (上限30万円)	190件
	蓄電池を備えた 自動車 (EV・PHEVなど)	自己負担額の 10パーセント (上限30万円)	
	太陽光EV 連携機器 (変換機)	自己負担額の 10パーセント (上限10万円)	
③燃料電池(エネファーム)		自己負担額の 10パーセント (上限10万円)	180件

※②はいずれかの1つのみ申請可。

### 電気自動車を蓄電池として活用



家庭で電気自動車を蓄電池として活用するためには、電気自動車と住宅をつなぐ連携機器が必要となります。この連携機器を設置することで、電気自動車に蓄えられている電気を家庭で使用することができるようになります。

**環境にやさしい  
取り組みに補助金を  
交付しています**

市では、これまでの太陽光発電システムに加え、電

気自動車を蓄電池として活用するための車両購入費、太陽光EV連携機器、エネファームの設置費用に対して補助金を交付しています(左の記事参照)。

宇都宮は、全国に先駆けて「もったいない運動」を開始するなど、環境への取り組みが盛んなまち。そんな環境にやさしいまち宇都宮で、環境にやさしく、災害に強いマイホーム生活を始めてみませんか。

8 環境政策課 ☎(632)2408

ね。これからの、環境に配慮して、できることに取り組んでいきたいと思います。

昨年、東日本大震災を経験し、太陽光だけでなく蓄電池も備えていけば、非常時に利用しやすく安心だと考えるようになりました。また、太陽光で発電した電気を蓄電し、その電気を使うことで、経済的にもメリットがあるのも良いですね。

昨年、東日本大震災を経験し、太陽光だけでなく蓄電池も備えていけば、非常時に利用しやすく安心だと考えるようになりました。また、太陽光で発電した電気を蓄電し、その電気を使うことで、経済的にもメリットがあるのも良いですね。



補助金利用者の声

太陽光と蓄電池で  
安心の日々を

渡邊 正悟さん(下平出町)



◎毎月1日は「もったいないの日」日々の行動を振り返ろう 市では、地球上にあるすべてのものに、尊敬と感謝の気持ちを持ち、人やものを大切にする「もったいない運動」を進めています。日々、実践している行動をさらなる行動・実践につなげるために、月の初めに先月までの行動を振り返り、今月の行動・実践につなげましょう。☎環境政策課 ☎(632)2409